

2025年12月  
川越ガス株式会社

### 原料費調整制度に基づく 2026年2月検針分のガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき 2026年2月検針分の原料費調整単価を 47.2円/m<sup>3</sup> (税込) とさせていただきます。

これにより、平均的なガス使用量 (10 m<sup>3</sup>/月) では 2026年1月検針分のガス料金に比べて 19円 (税込) の値上げとなります。

#### ●原料費調整内容 (基準料金表) 2024年6月改定

※下記料金は税込表記です

基本料金	従量料金		原料費調整単価
1,980円(一般) 2,310円(賃貸)	0m <sup>3</sup> から5m <sup>3</sup> まで	594円/m <sup>3</sup>	47.2円/m <sup>3</sup>
	5m <sup>3</sup> をこえて20m <sup>3</sup> まで	539円/m <sup>3</sup>	
	20m <sup>3</sup> をこえて30m <sup>3</sup> まで	517円/m <sup>3</sup>	
	30m <sup>3</sup> をこえて40m <sup>3</sup> まで	473円/m <sup>3</sup>	
	40m <sup>3</sup> をこえる場合	429円/m <sup>3</sup>	

#### ●平均的なガス使用量 (下記例は一般料金で計算しています)

月間ガス使用量	2026年1月ガス料金<A>	2026年2月ガス料金<B>	前月比
10.0m <sup>3</sup>	8,098円	8,117円	19円

※従量単価に加減される原料費調整単価及び料金計算式途中で算出される小数点以下の四捨五入等やインボイス計算により実際の金額とは異なる場合がございますので、予めご了承ください。

#### ●原料価格など指標の推移

	10月	11月	12月
中東 LPG 指標:CP(ドル/トン)	495	475	495
北米 LPG 指標:MB(ドル/トン)	332	308	
為替レート:TTS(円/ドル)	152.30	156.20	
フレート(船賃):RIM(ドル/トン)	13,900	14,100	14,200

#### ●計算方法

基準原料価格 66,000円/トン

FOB 価格 【 中東北米合成  $452.00 \text{ ドル} \times 156.20 \text{ 円/ドル} = 70,602.4 \rightarrow 70,600 \text{ 円/トン}$  】  
合成 CP  $485.0 \text{ ドル} \times 70\% + \text{ 北米 MB } 375.0 \text{ ドル} \times 30\% = 452.00 \text{ ドル}$   
中東合成 CP (11月 CP475 ドル+12月 CP495 ドル) ÷ 2 = 485.0 ドル  
北米 MB11月 MB308 ドル+67 ドル (ターミナルフィー) = 375.0 ドル

フレート価格 フレート 14,200円/トン

円換算 11月1日～末日 TTS 平均 156.20円/ドル

LPG 輸入価格 FOB 価格 70,600 + フレート価格 14,200 = 84,800円/トン

当月原料価格 84,800円/トン + 石油石炭税 1,860円/トン = 86,660円/トン

原料費調整単価 (当月原料価格 86,660円 - 基準原料価格 66,000円) ÷ 1,000(kg) ÷ 0.482(m<sup>3</sup>) ≈ 42.9

2026年2月ガス料金の原料費調整単価は1m<sup>3</sup>あたり47.2円(税込)です。